

年長・夏期講習の内容について

さあ、夏が勝負の時、4ヶ月分の内容をきちんと、無駄なく確実にに入れて行きましょう。そして秋の合格をもらいましょう！夏期講習中、授業は基本的には見学して頂きますが、どうしても来られない方は、お子さんだけでも結構です。お迎えの時にご説明します。

また夏の間願書の完成と面接対策に力を注いで下さい。「面接特訓」は7月の日曜日から開始します。なるべく早めに予約して下さい。9月は特別特訓の為、出来ません。10月は願書提出です。毎年、未完成なまま面接本番を迎え、泣いている方が見られます。お早めにクリアーして下さい。

夏期講習の授業時間

午前は12時30分終了です。(後ろを合わせます。)

午後は13時30分スタート。(初めを合わせます。)

つまり

午前 3時間授業の方は 9時30分スタート

2時間授業の方は 10時30分スタート

午後 どのクラスの方も全て 13時30分スタート

総合1. (総合の1期) 3時間授業です。2時間はペーパーだけ。今までの総まとめをします。余り簡単な内容はありません。今のレベルと同じレベルです。足りない所をきちんとチェックして、マスターして頂き、2期につなげたいと考えております。午後から巧緻を行います。今までの総まとめ、過去に「点数の出る巧緻の問題」をある学校の現役の先生に作って頂きましたので、それを使って行います。今までのやり方では何点になるのか、現実の実力を見極めて下さい。そしてこれから始める夏の勉強の充実を図って下さい。

総合2. (総合の2期) 2時間授業です。1期のレベルアップで、指示が増えます。難問も追加され、指示が増えるので、1期を確実にクリアーしないと、歯が立ちません。

総合3. (総合の3期) 2時間授業です。ハイレベルの問題が沢山出て来ます。学校の過去問も入り、思考問題も多くなり、難問ばかりの印象となります。思考問題の為、考え方を見つける授業です。その為、一度行った問題は復習する意味が半減するので、初めての問題をきちんとこなす力を身に付けましょう。

成蹊特訓 (4時間授業)

午前中にペーパーを2時間。午後は集団行動を2時間行います。

集団行動と運動は最近出題された問題です。集団行動は初めてなので、かなり苦戦します。これぞ、「成蹊の集団行動」と認識して下さい。また「成蹊運動」ではサーキット形式で行います。頭で覚えることと、身体を記憶通りに動かす

事の難しさを初めて体験することとなります。夏期講習中に「成蹊の集団行動」「成蹊運動」のクラスをつくりました。指示がなじがらめですが、実力を付けて、桐朋学園と成蹊をしっかり狙いましょう。

桐朋特訓 1 (3時間授業)

過去問中心に行います。2時間は1日目の試験問題。テスト形式ではないので、出来るまで行い、練習も致します。後半の1時間は集団行動で試験の内容をそのまま行います。少し古いものを行いますが、最近のものは授業で行うので、夏に通して過去問を行うのは面白いです。桐朋もしょっちゅう問題を変えて来ますから、やる意味はあります。特に集団・指示行動が難しいです。

お母様方は結構かっかしてしまいそうです。

桐朋特訓 2 (3時間)

桐朋模試の内容を3日間行います。ただ模試ではないので、そこでやり直しをして、出来ない所をきちんと復習出来るので良いと思います。

桐朋特訓1では実際に桐朋に出題された問題を。

桐朋特訓2の観察はオリジナルの問題を行います。

幅広い学習が出来ると思います。

桐朋特訓1と同じように観察と集団行動も体験出来ます。

運動 (1時間授業)

夏期講習は絵画と運動をセットに致しません。

メンバーに応じ、一つ一つの技術を確かなものにしていきます。1日に2、3種目を目標に確実にやりたいと思います。

なかなか運動の時間が取れない頃、能率的に空き時間の合間に入れて下さい。絵画と運動の申し込みは別日にですので、急がなくても結構です。

絵画 (1時間授業)

毎日自分の好きな物を出来るだけ沢山描きます。早く描ける為に、時間のあまる生徒は何回も描かせます。短時間に描けるようにすることで、桐朋と早稲田に対応出来るように致します。

昆虫 (3日間)

動物 (3日間)

人間 (3日間)

粘土 (3日間)

実践1（3時間授業、内1時間はお食事マナー指導）

1. みんなの前に出て発表する。
2. 言語（言葉や数の復唱など）
3. 指先を使った巧緻性。（ビーズ通し、ゴムパターンなど）
4. 生活巧緻性（雑巾絞りなど）
5. リトミックやゲーム遊びなどの指示行動。
6. 食事マナー指導。お弁当を食べさせながら、生活習慣や箸の持ち方などを細かくチェックします。評価表あり。

実践2。（2時間半授業）実践1の応用編

（立体と平面を使った図形が多くなる）

ペーパーが基本から応用に発展となります。1期の「言語の分野」は、「知識の分野」や「常識の分野」に変わります。

自分で考えた事や、知っている事を自分の言葉で発表する指導となります。

1期の「指先を使った巧緻性」は「巧緻性サーキット」形式になり、短い時間の中で、確実に沢山の内容をクリアさせる指導です。その他にちぎり、色々な素材を使った巧緻性と幅が広がります。その他、図形認識、空間判断として、台形パズルや積木構成など、実際に具体物（積み木・折り紙）を使った学習となります。その他、リトミックやゲームなどの指示行動、集団行動も充実しています。

巧緻・制作（2時間授業）

3日間を通して、色々な紐の結び方を徹底的にマスターします。

指先を使って、模写や点図形も、「お手本通り」に確実に早く描けるよう指導します。さらに毎日、2つずつ制作物があります。それは遊べる道具です。

毎回それで楽しく遊びます。

一つは「指示制作」です。

のり、ハサミ、セロテープ、クーピー、モール、折り紙など沢山の材料を使いこなし、指示通りに作品を仕上げます。

もう一つは、「課題制作」です。例えば、子供達が絵本を画用紙で折って創り、そこに指示された絵を描き、子供達は最後に何の絵本になっているかを考えさせます。

パズル（2時間授業）

毎回、4項目行います。

1. 図形合成
2. 絵の合成
3. 立体、ブロックパズル、パターンブロック
4. 立体判断を高める構成

言語1 (2時間)

文章を作る前段階として、基本的な単語、名称を確認します。(語彙を増やす) 例えば文章を作る為の動詞(しゃがむなど)・擬音語(ビュービューとそよそよの違いなど)・擬態語(電車や車の走る音の違いをきちんと表現するなど)・反対語を使い、カードを見て表現できるようにします。(反対語は知っていても、絵を見て表現することは難しいのです。)それらを一人ずつ発表させたり、集団で話し合う等、色々な状況で、誰にでも話せるようにしていく事を学びます。毎日誰が、何回発表したのか付けて、表彰し、良い意味での競争をしながら、発表力を身に付けます。

言語2 (2時間)

「言語1」で文章作りの基本的な語彙のベースが出来ているので、このクラスで文章の組み立てをしていきます。過去問題を使いながら、個人的に色々なシチュエーションで作ります。言語1と同様、個人・集団など、誰にでも話せるようにしていきます。面接特訓も取り入れて、全員のご父兄に面接官になっていただき、30分間どんな先生にも話せるようになろう!!というコンセプトで行います。ご自宅でどんなに話が出来ても、人前で話が出来ないという方、ご自宅では出来ない学習です。みんなで自信を付けていきましょう。

女子校ペーパー特訓 (2時間授業)

過去問題を中心に3校行います。毎日レベルの高い学校にと発展させます。その学校の特徴もつかむ事が出来ます。一日20枚ご用意しております。行けるだけ頑張るクラスです。女子校の過去問ではありますが、順序良く考えないと答えが出ない複合問題なので、成蹊や暁星など、男子の難関校向けでもありますので、例年、男子が半分以上受講されています。